

UNIRITA

Magazine

vol.42

20th

Anniversary

Waha!
Transformer

ユニリタマガジン

「Waha! Transformer」が データの価値を創る!

発売開始から20年。激しく変化するITの潮流に対応し、
常にお客様のデータ活用を支え続けてきた
「Waha! Transformer」の歴史と未来を紹介

パートナー様ご紹介 CTCシステムマネジメント株式会社 様

RPAによる業務効率化のカギは“組み合わせ”!
CTCシステムマネジメントが提唱するRPA+αの取り組み
「Robochestration」で真の業務効率化を実現します

ユニリタ
イメージキャラクター
朝倉あき

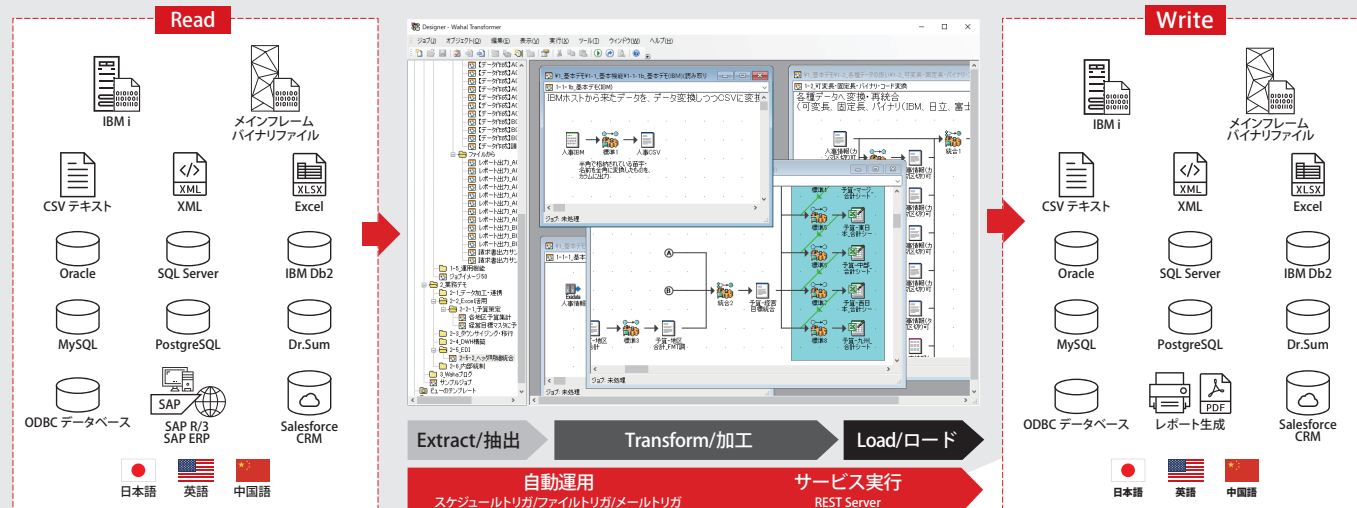


Waha! Transformerとは

「Waha! Transformer」は日本製エンタープライズETL（Extract Transform Load）ツールとして、1999年に発売を開始しました。

さまざまな環境のデータ抽出・加工・連携をSQLやプログラミングの知識なしで高速に実現できることから多くの企業に導入いただいています。

利用用途も、データウェアハウスの構築をはじめとしたデータ活用から、J-SOX対応、基幹システム再構築など多岐に及び、日本のIT活用の変遷とともに発生するさまざまな課題を解決し続けています。



1999/04 Ver1.2 リリース
Data Warehouse Automation (Waha!)
DWH 構築の自動化・省力化を目的に、主にデータクレンジングなど DWH の前処理で利用

2002年

2002/09 Ver2.0 リリース
新GUIをはじめとした大幅な操作性・機能強化
DWH以外に、基幹システム刷新時のデータ移行・連携やEDI業務における基盤として活用される

2009年

2009/09 Ver3.0 リリース
日本企業の海外展開に併せ、中国語 OS に対応!
J-SOX における監査証跡業務での展開が進む

2012年

2012/05 Ver4.0 リリース
情報爆発時代におけるビッグデータ対応し、各処理の大幅な処理速度高速化
ERP連携・運用機能の大幅強化を実現
ビッグデータ対応データ連携基盤としての採用が進む

2015年

2015/05 Ver5.0 リリース
クラウドファーストの浸透に伴い、クラウドとの高速連携機能を強化
帳票機能拡張により、企業の帳票業務でも利用が増加。海外製ETL・EAIツールのリプレースとしての採用が進む

2016年

2016/05 Ver5.1 リリース
マイナンバー、個人情報に対する保護ニーズの高まりに合わせ、セキュリティ対応
Excel機能強化により、働き方改革に関連した、各企業のExcel業務効率化で多く採用

2019年

2019/06 Ver5.2 リリース
デジタルトランスフォーメーション (DX) 対応ニーズの高まりから、処理のマイクロサービス化 (REST) に対応
履歴管理機能搭載により速く安全に利用できるETLに。
AIによるOCR連携やRPA連携などへの利用領域の拡大へ

20th
Anniversary

累計
1800
ライセンス
達成

Waha! Transformer®

沿革

DXを加速する エンタープライズETL

デジタル技術を活用し、新たなビジネス価値を創出するDX（デジタルトランスフォーメーション）は、業界や企業規模を問わず、あらゆる企業にとっての経営課題となっています。

DX実現のためには、SoR、SoEのバランスの取れたシステム構築、そしてそれをつなげ活用を促進するSolが非常に重要とされ、その手段としてETLツールが採用されるケースが多く見られるようになりました。

「Waha! Transformer」の最新バージョンでは、ETLツールとしての作りやすさや高速性をそのままに、DXで要求されるメンテナンス性や接続性に対応。

企業のさまざまなデータ加工・連携の課題を構築からメンテナンスまで、シンプルな操作性と強力な加工機能で解決し、ビジネスを成功に導きます。



ますます広がりを見せる活用事例 さまざまな用途で利用され、お客様の業務を支えています

AI×OCR
+
Waha!

この事例の
詳細は
コチラ!



アライズイノベーション株式会社 様

RPA導入を加速させる「AI×OCR」の品質担保にETLが役。データ精度の向上に大きく貢献する「Waha! Transformer」



ビッグデータ
分析

この事例の
詳細は
コチラ!



ソフトバンク株式会社 様

巨大なITインフラの断捨離により、数億円規模の投資対効果を実現



基幹系システム
再構築

この事例の
詳細は
コチラ!



株式会社安藤・間 様

合併に伴い新たな業務基盤の再構築を強力に推進



RPA + Waha!

この事例の
詳細は
コチラ!



CTCシステムマネジメント株式会社 様

RPAとETLツールによって管理帳票の自動作成を実現 現場に蔓延するExcel編集業務を改善



J-SOX対応
+
Waha!

この事例の
詳細は
コチラ!



東亜建設工業株式会社 様

作業依頼書とログの突合作業時間が1/5へ
監査対応だけに終わらない
柔軟なログ突合基盤を3ヶ月でスタート



BI + DWH
+
Excel

この事例の
詳細は
コチラ!



旭化成株式会社 様

ETLを最大限に活用して、低コストで
検索時間1/50を実現!



「Waha! Transformer」は、発売開始から20年の歴史の中で、お客様のさまざまな業務課題を解決してきました。その結果の1つとして、高い導入効果を得られたお客様にご協力いただき、導入事例を公開させていただいております。それぞれの活用シーンに合わせた豊富な事例を紹介していますので、ぜひユニリタWebサイトをご覧ください。

日本特殊陶業株式会社 様

スリムなSAPでコストを抑制しながら、
基幹システム刷新



基幹系システム
再構築

この事例の
詳細は
コチラ!



カシオ計算機株式会社 様

取引先200社との受発注システムをノン
プログラミングで再構築



EDI + Waha!

この事例の
詳細は
コチラ!



カンロ株式会社 様

Excelで行われてきた小売先企業ごとの
損益管理を効率的に実現



BI + DWH
+
EXCEL

この事例の
詳細は
コチラ!



株式会社デンソー 様

「カイゼン」効果の見える化は現場主導で!
成功のカギはデータの鮮度と精度!



Excel業務
効率化

この事例の
詳細は
コチラ!



株式会社熊谷組 様

SAP ERPとのデータ連携基盤を再構築
保守コスト60%削減と業務効率化3倍を実現!



海外製ETLツール
リプレイス

この事例の
詳細は
コチラ!



東海EC株式会社 様

Excel業務自動化がもたらすワークス
タイル変革! 現場部門の意識改革が業務効
率化と組織活性化を生む!



Excel業務
効率化

この事例の
詳細は
コチラ!



Waha! Transformerが実現する 業務課題解決ソリューション

ユニリタは製品・サービスを提供することで、さまざまなお客様の業務課題を解決してきましたが、市場のニーズが高く共通性のある課題解決手法を、ソリューション化して提供しています。中でも「Waha! Transformer」はその多様性のため、多くのソリューションで利用されています。

ご興味がございましたら、担当者までお気軽にお声がけください。

➤ 経営情報可視化・現場業務の見える化 詳しくはこちら

変化するビジネス要求に迅速に対応し、売上の直接貢献に寄与するため、企業はさまざまなデータを活用した迅速な発見(事業における次なる一手、新ビジネスのヒント)を求めています。

情報活用を成功させるには、「データの収集・加工→分析→発見までをいかに短期間、効率的かつセキュアに実現するか」が勝負のカギを握っています。

本ソリューションでは「データの収集」から、「データの突合・加工・集計」、「レポートの作成およびレポートの配信」までを自動化することにより、経営に貢献する情報活用を支援します。

関連事例：カンロ様、旭化成様

➤ 海外製ETL・EAIツールのEOS対策 詳しくはこちら

2000年代に海外製ETL/EAIを導入された企業のなかには、保守費用が高額だ、オールインワンパッケージで豊富な機能を持っているが使いこなせない、不要な機能が多い、サポートのレスポンスが遅い、さらにはエンドオブサポート(EOS)や新規開発の停止など、データ連携基盤の今後の継続的な運用に不安や課題を抱えているお客様が数多くいます。

本ソリューションは、日本製ETLツールによるデータ連携基盤の再構築を支援することで、大幅なコスト削減と安心・安全な運用体制を実現し、お客様の課題を解決します。

関連事例：熊谷組様

➤ EDI 2024年問題対策 詳しくはこちら

長年、日本経済を支えてきた企業の多くは、「EDI システムの2024年問題」への対応に課題を抱えています。

この課題を持つ企業の多くは、EDIシステムを軸に視野を広げようと、相次ぐ法対応や老朽化課題、高齢化による技術の継承といった共通課題が存在しています。

ユニリタでは、EDIを利用している企業の多くが潜在的に抱える共通課題を解決するソリューションを提供しています。

関連事例：カシオ計算機様

➤ IT内部統制モニタリング 詳しくはこちら

内部統制の推進や個人情報保護、法改正や企業合併、さらにはインターネットやSNSなどの普及により、多くの企業はモニタリングの強化に課題を抱えています。

本ソリューションでは、「業務に組み込まれて行われる定常的モニタリング」と「業務から独立して実施される独立的評価モニタリング」の2つの観点で、IT統制が有効に機能していることを継続的に評価し、業務の正当性をチェックすることができます。

関連事例：ソフトバンク様、東亜建設工業様

➤ Excel定型業務効率化 詳しくはこちら

Excelはあらゆる業務で使用されている万能ツールですが、情報公開速度が遅くビジネススピードに追従できない、多大な集計作業のコスト、マクロの老朽化、業務の属人化などといった課題を抱えるケースが多くあります。

本ソリューションでは、これまで手作業で実施してきた集計作業の自動化や、データ連携基盤の構築などで、このような課題を解決し、業務改善や効率化を実現します。

関連事例：デンソー様、東海EC様

➤ オフコンデータ TO クラウド 詳しくはこちら

オフコンのシステムを新システムへ移行するには、データ構造を変更する工数やデータ抽出機能の追加など、想定していない費用が発生することがあります。

一方、現場では、過去情報を活用する業務も残っているため、ハードウェアごとシステムを塩漬け運用することも可能ですが、サポート期間の問題や維持コストが業務量と比較して大きいという課題があります。

本ソリューションでは、過去データをクラウド上に移行し、データ抽出環境を提供します。

Waha! Transformer 最新バージョンVer5.2リリース マイクロサービス機能の活用でDXを加速

2019年6月にリリースした「Waha! Transformer Ver5.2」では、REST Serverオプションの実装によるマイクロサービス対応と、履歴管理オプションによるメンテナンス性の向上により、お客様のデジタルトランスフォーメーション(DX)実現を加速します。

【REST Serverオプション

マイクロサービスとは

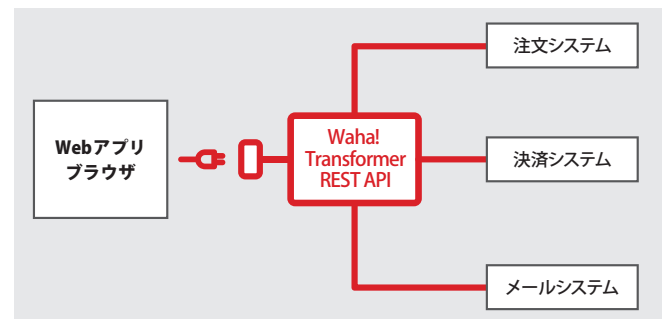
マイクロサービスは、システムの複雑な連動手順をサービスという形でカプセル化し、シンプルなREST APIで連携する手法で、DX実現のカギとも言われています。

「Waha! Transformer REST Serverオプション」は、Webアプリケーションサーバを同梱しておりETL処理をマイクロサービスとして公開できます。基本的な利用条件なら複雑なサーバ構築は不要です。

ETL処理をそのままマイクロサービス化

基幹システムをマイクロサービス化するにはプラットフォームをまたがった知識と多くの開発コストが必要ですが、REST Serverオプションを利用すれば、メインフレームを含むさまざまなシステムを「Waha! Transformer」の知識だけでマイクロサービス化することが可能です。

マイクロサービス化する場合の考慮点は、入出力されるファイルと、並列実行の配慮のみで、通常の開発とほとんど同じです。



ExcelやHTMLの取得

REST APIの入出力データは、CSVのほか、XMLやExcelなど、「Waha! Transformer」がサポートするさまざまなデータをそのまま利用できます。

また、新たに「テンプレート接続情報」が追加され、複雑なHTMLやXMLも容易に作成することが可能になりました。

REST APIは標準的なHTMLのリンクとしても利用できますので、リンクをクリックするだけで「Waha! Transformer」が作成したHTMLページを表示したり、ExcelをダウンロードしたりするHTTPトリガとしても機能します。

システム連携の拡大

REST APIはJavaだけでなくブラウザ上のJavaScriptやPythonなどからも容易に呼び出しが可能で、利用するための情報も豊富です。スマートフォンやIoTデバイスなどからも「Waha! Transformer」を呼び出してデータ取得が可能となります。

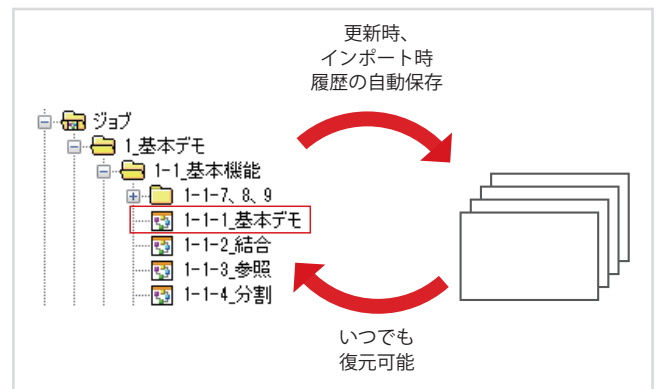
また、プログラムだけでなくBPMツールなどからも「Waha! Transformer」のETL処理を連携できます。

【履歴管理オプション

ETLツールは、GUIによるわかりやすい処理の記述が特徴ですが、処理の記述が独自方式であり、履歴管理のためにGitやSVNなどの一般的なバージョン管理システムが使用できません。

「Waha! Transformer」はETL処理の履歴管理機能を搭載。ジョブの保存時に自動的に履歴が作成され、過去の履歴からいつでも最新に戻すことが可能です。

履歴を保持することで、本番業務の一貫性の維持を実現します。



※履歴管理オプションはVer5.2のマイクロバージョンでリリース予定です。

【その他の機能強化

「Waha! Transformer Ver5.2」において、お客様のエンハンス・リクエストにより標準として実装された機能強化の一部を以下に掲載します。この機会にぜひバージョンアップをご検討ください。

機 能	説 明
Web管理ツール (サンプル実装)	ブラウザからジョブの実行が行えるツールを同梱しています。
レコードジェネレータ 接続情報	タミーファイルを用意しなくても指定件数のレコードを生成できます
テンプレート 接続情報	特殊なタグを挿入したテキストテンプレートにレコードの内容を挿入し、複雑なHTMLやXMLを生成する接続情報です。
前/後/例外処理で メール送信	ジョブからメールを発行する機能です。タイトル、本文と添付ファイルを指定できます。
ログの自動分割機能	ログから安全に過去データを切り出し、ローテーション運用を可能にします。
抽出条件の強化	抽出条件で入力カラム同士の比較や「NOT」に対応しました。
1900/1/1以前の 日付に対応	1900/1/1以前の日付が取り扱えるようにWaha!エンジンを拡張しました。
空白の自動TRIM オフ機能	文字列の前後の空白は自動的に削除されますが、空白削除がされない設定が可能になりました。
JobRun ログ出力 パラメータ追加	実行ログの内容を、指定したファイルに同時出力することができます。

「Waha! Transformer」の関連する業務課題解決ソリューションは、今回ご紹介したもの以外にもまだまだたくさんあります。

また、今後もニーズに合わせ、お客様の業務課題を解決する新しいソリューションを構築していきます。以下の2つは今後新しく発表予定のソリューションです。何かお困りの課題や実現したい業務などございましたら、担当者までお気軽にご相談ください。

基幹系再構築に伴うデータ移行・連携

グローバル化が進む中、ビジネスで求められるスピードは益々加速しており、基幹系システムにも「効率化」が求められています。

ユニリタでは、企業の根幹を支える基幹系システムと周辺システムにおいて、メインフレームから仮想化、クラウドまでさまざまな再構築プロセスで発生する課題の解決案をご提供いたします。

関連事例：安藤・間様、日本特殊陶業様

Waha! on ユニリタクラウドサービス

データ連携基盤は、これまで企業におけるさまざまな情報活用のシーンにおいて重要な役割を担ってきました。

一方、昨今では、ハード、ソフト、運用保守を含めた体制を、「ひとり情シス」で特定の社員が受け持ったり、「事業部IT」として自部門で独自に持っているというような課題を解決したいというお客様が増えています。

本ソリューションでは、データ連携における開発・運用・保守などの業務をユニリタが請け負いクラウド上に環境を構築することで、「ひとり情シス」や「事業部IT」のデータ連携課題を解決いたします。



RPAによる業務効率化のカギは“組み合わせ”！ CTCシステムマネジメントが提唱するRPA+αの取り組み 「Robochestration」で真の業務効率化を実現します

近年、RPAを導入する企業が急速に増えています。定型化された業務・操作を自動化することで、業務効率化やコスト削減を実現することができます。しかし、RPAだけでは自動化が難しい(苦手な)業務があることもわかってきました。RPAだけで解決しようとすると“ムリ”がおき、プロジェクトが頓挫したり、想定以上の導入負荷がかかってしまいます。RPAは、さまざまなソフトウェアを操作することが可能ですが、RPAですべてを自動化するのではなく、専門的な自動化(効率化)ができる+αの製品とRPAを組み合わせ活用することが重要なカギとなります。

CTCシステムマネジメント(以下、CTCS)では、自社のシステム運用業務へのRPA導入を始め、多種・多様なお客様に対してRPAを提案・導入し、業務効率化を推進しています。

■RPAを活用した業務効率化

既にRPAを導入、検討されているお客様は多数いらっしゃいますが、ここでは、RPAを活用した業務効率化についてご紹介いたします。CTCSでは、お客様のご要望に応じたRPA製品(下記参照)の提供が可能です。

WinActor(ウィンアクター)

PC上で行うさまざまな操作を、「シナリオ」として記録・編集することで、簡単にロボットシナリオを設定することが可能なソフトウェアです。定型的な繰り返し作業や、大量データを扱う作業を、正確に再現することが可能です。

パトロールロボコン

開発型のRPAツールであるパトロールロボコンは、カスタマイズ性・柔軟性に優れた製品です。そのカスタマイズ性で、今まで難しかったIT運用業務の自動化も可能になります。

RPAは定型化された業務や画面操作が中心の作業において、業務効率化を実現するソフトウェアです。しかし、さまざまなロボットシナリオを構築、導入していく中で、RPAにも得意領域、不得意領域があることがわかってきました。ひとつは、数千、数万あるデータから特定のデータをピックアップする、他ファイルのデータと結合するといった大量データ処理(Excel操作)です。

これは、処理単位ごとの分岐条件設定が必要であることが主な要因となりますが、データが増えれば増えるほど、抽出条件、作業条件が複雑になり、結果的にロボットシナリオが複雑になってしまうためです。複雑化したロボットシナリオは、修正が入るたびにメンテナンス負荷も高くなります。そのため、ロボットシナリオはいかにシンプルに設計できるかがポイントになります。

■CTCSが推奨するRPA+αの取り組み

CTCSでは、RPAだけですべての業務効率化を実現するのではなく、業務の特性や環境に応じて、複数のソフトウェアを組み合わせることで、お客様の業務効率化を実現します。データ処理(Excel操作)や専門的な自動化が得意な複数のソフトウェアをRPAが操作(指揮)することで、多様な業務、環境における自動化が可能になります。

■RPA+データ処理(Excel操作)

データ処理業務においては、ユニリタの「Waha! Transformer」を活用します。「Waha! Transformer」は、プログラミング・SQLといった知識が不要で、GUI上の簡単な設定により、データ加工の仕組みを実装可能です。

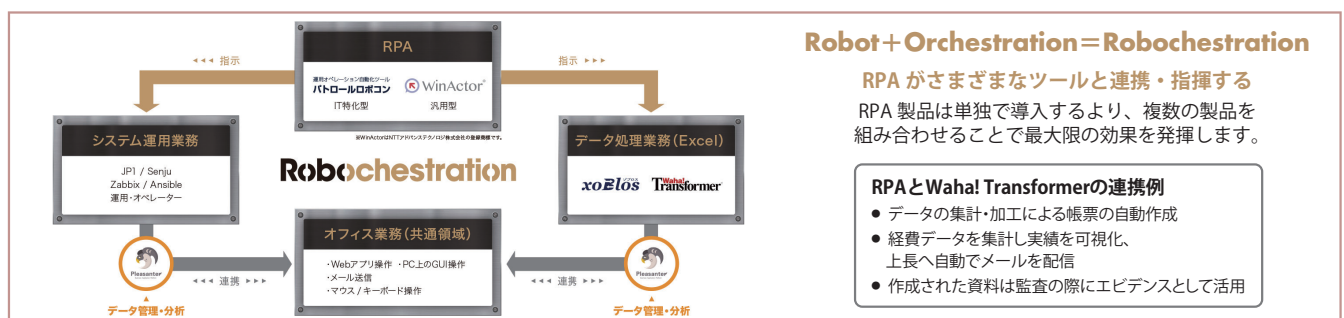
基幹システムや会計システム、WebアプリケーションからRPAがデータをダウンロードし、その情報をもとに「Waha! Transformer」がデータ加工することで、帳票作成までの自動化を実現します。



■RPA+データ管理(Webデータベース)

ロボットシナリオ作成において、Inputデータ/Outputデータの管理形式が業務ごとに異なる点も、シナリオが複雑化される要因のひとつです。CTCSでは、国産OSS製品のWebデータベースである、株式会社インプリムの「Pleasant(プリザンター)」を提供します。RPAに引き渡すInputデータおよびRPAの処理結果(Outputデータ)をPleasantで集中管理することで、RPAを効果的に利用することができます。

CTCSでは、お客様の業務効率化に向けたPoC支援から導入、運用サポートが可能です。RPA導入にお困りのお客様は、ぜひ、組み合わせによる業務効率化をご検討ください。



Robot+Orchestration=Robochestration

RPA がさまざまなツールと連携・指揮する
RPA 製品は単独で導入するより、複数の製品を組み合わせることで最大限の効果を発揮します。

RPAとWaha! Transformerの連携例

- データの集計・加工による帳票の自動作成
- 経費データを集計し実績を可視化、上長へ自動でメールを配信
- 作成された資料は監査の際にエビデンスとして活用

お問い合わせ

CTCシステムマネジメント
Tel:03-5210-8200 Mail:ctcs-sales@ctc-g.co.jp

CTCシステムマネジメント

検索

UNIRITA

株式会社ユニリタ www.unirita.co.jp

本社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 TEL 03-5463-6383
名古屋事業所 〒451-0045 名古屋市中区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル(1B48KTビル) TEL 052-561-6808

ユニリタグループ

株式会社アスペックス / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研
備実必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ
株式会社ユニ・トランド / 株式会社ユニリタプラス / 株式会社無限